



文久  
改正

京之河根  
二

特別  
凡生  
3776  
2





門 凡 4  
3778  
卷 2

昭和二十六年  
二月十三日  
購求

花洛羽津根卷二目錄

外記 方官 方樂 人方

京都 綴橫町小路

同通筋神社佛閣

同諸穢商店

同所々新屋敷地

同圖子小次

洛陽異名

洛外名物

洛陽卅三所觀音巡

十二社巡

六地藏



三弘法  
 名弥陀巡  
 名釋迦  
 護念佛  
 大佛殿寸尺  
 大佛寸尺  
 三十三間堂寸尺  
 名舍利

外記方

大外記

正四位下  
造酒正

押小路掃部頭原師身

少外記

從五位上  
少外記

山口兵部大丞全昌言

推察記

正六位上

同治部大丞全蕃昌

少外記

正六位下

平田中務大録職明

史生

從五位下

宗園式部大丞宗園經成

從五位上

青木民部少丞行恒

正六位

宗岡式部允宗岡顯經

文殿

正六位下

青木玄蕃少允行方

召使

正位上

兵部少丞行誠

正位上

佐渡介行恭



後六位下 青木雅樂少亮宗國行兇

少納言 正七位下 山根右京大屬藤原輝文

正位下 木村大學大屬源心香

同内藏大屬源心篤

中務省史生 絹川武藏少掾平保道

大舍寮 正位下 山口大舍人頭紀定厚

正位下 永井大舍人推助藤原清

正位下 近藤大舍人元源義一

正位下 岩垣大舍人元源菊苗

永井若狹介藤井常名

岩垣佐渡介源叔苗

後位上 嬬小路薩摩介源頼茂

同史生 正位上 岸本大舍人助源業壽

村田安房掾菅原信義

同史生 正位下 下村大舍人少屬攝諸見

内藏寮 正位下 德園藏大元大盛禮

同官人 後位上 多村伊勢少清原久成

同史生 正位下 同 近江介全文直

深尾内藏少亮藤金長

澤渡近江掾紀廣繁

縫殿寮 正位下 好田上野大掾友原秀幸

西尾縫殿助源在忠

後位上 小木縫殿大元智氣政德

後位上 多田縫殿推同好問

同史生 正位下 同上總少掾安之

原常陸少平為道



式部省 五位下 谷式部大丞平胤典

同央生 後五位下 三崎常陸大掾源義直

五位下 永田大和太掾源忠信

大膳職 後五位上 浴川大膳權亮藤康共

後五位上 同大膳大進小野久遠

同史生 後六位下 金川大和太掾菅原德成

大炊寮史生 鈴木尾張自源友高

五位下 岡田上總大掾船義郁

吉村常陸大掾源逸廣

鈴木越前大掾源以友

掃部寮 後五位上 清水掃部助藤利貞

後五位下 同掃部權助同利政

五位下 平岡掃部太允 利和

同史生 後六位下 奥田近江大掾源信敬

五位下 中大路常陸大掾源輝光

造酒司史生 德義越前大掾源公棟

同播广大掾同信貞

多村丹波掾源宗美

德義常陸大掾源在壽

內登 後五位上 渡辺主計助源珍貴

五位下 林大炊權助源貞矩

後五位下 同甲斐守 同貞旅

渡辺大炊助同珍鏘

陣官人 五位上 攝田左近衛將監攝久芳

富嶋左近衛將監源元賢

同左近衛 後五位上 同左將曹源元起

左馬寮 後五位下 大嶋左馬大允源友將

五位上 同左馬少允 同友明



右馬寮 同右馬大元源友習

兵庫寮後五位上 高橋兵庫頭藤俊美

同史生從五位下 石原武藏大掾源光慶

五位下 同肥後少掾貞德

從五位下 安田和泉掾管照矩

鼓師 兵庫寮下司

鉦師 同 無位 小林 源正、永

贊者 宅傳 誦訪長門公孫信順

使部 無位 八木官內大掾源邦長

山田大和掾源永叙

井上河內大掾源宗久

安田三河掾源良能

同 盛富

山田 永貞

藏內 後原安常

山田 源保造

井上 為貞

前川 永光

今井 秀晴

川村 為有

官方

左大史 修理東大寺大辨長官中務少輔 而傳 壬生主殿頭小槻補世

右大史 造興福寺判官 五位下 山名玄蕃助三善隆功

魚鹿織部正小槻秀興

前右史 從五位上 村田刑部大進高橋春之

左少史 從五位下 山口內通助紀以昌

村田官內少進高橋重春



右少史 虫鹿上野介小槻秀順

五位上 山名玄蕃助三善亮隆

左史生 後五位下 山口神祇大祐紀以昌

左官掌 五位上 岩崎治部少丞氏萬

五位下 小野治部大録紀氏祐

右官掌 五位上 岩式部少丞紀親成

後六位下 座田玄蕃大元紀氏喜

峯大藏少丞紀子孟親

後五位 岩崎大和介紀氏孝

青木刑部少丞宗國行邦

青木大学大丞公行郭

同 大藏大録公行心

和留主計大属橋吉胤

辨侍

同 惟樂大属金亮胤

内舍人 正六位上 三崎大舍人 大属源時習

後五位上 神原備後守和氣信董

五位上 谷森大和介平種杏

五位上 清水右兵衛大尉源友芳

後五位下 藤堂兵庫推助忠景忠

正五位上 河副大尉藤原安信

正五位下 大原大宰大興公政成

座田元京推亮知成太氏

近藤少监物家重武

藤堂刑部少丞忠景景泰

浅井参河介和氣惟良

荒木木重房

山下兵庫大元源康直



高屋雅樂大允帳康功

藤木主祝大允賀茂保道

原近江介平在照

東過圖書權助賀茂清光

藤木右兵衛權大尉方顯

神原和氣信德

辻右衛門大志源順良

山下右將監源直和

内海官内少錄尚賢

清水式部少錄源友也

小林右兵衛大尉祐勝

齊名駿河介及良利

荒木木子權助藤重房

五十川右京少進久美

正登

正位上

高田越前介永康

初川右兵衛大尉藤原信克

藤林尤馬少允大神忠可

吉村全計少允平高厚

浅井伊与介和氣惟純

正登下

石田右兵衛權大尉藤惟明

田中平盛業

河副藤原安廣

近藤右兵衛權大尉重文

廣瀬筑前介大江信見

石田右兵衛權大尉惟明

河野官内大錄威通

藤堂中原景恭

正登上

上田右兵衛權大尉藤尊



正六位上 時岡神祇少史忌部茂郁

正六位下 齊藤信濃介藤知三

高屋中原康功

時岡右兵衛尉茂兼

狩野内匠大属文信

新見内匠少属泰恭勝

狩野豊前守藤原茂信

堀川大藏少丞大石弘亮

篠田上總大掾源保寛

安見 兼邦昌

同 全賢昌

高井 源義信

小野主殿權助佐伯職保

送位下 小野主殿助伴重安

内近寮史生 送位下

送位下

大藏省 木二寮

太藏省史生

本寮史

同史生 送位下

同 全重禮

主殿寮 正位下

送位下

送位下

同 佐伯職忠

同官人

主殿寮史生 送位下 中尾友河今藤基之

同史生 送位下 今藤主殿大属玄俊

藤井上野大掾藤原明憲

嶋田越前大掾源雅喬

正位下 下村主殿少元攝一幸

左集官人 送位下 畑主殿大允伴纜

右集官人 送位上 岸丹波介佐伯昌誠

使部 無位 大崎遠江掾友元陳



庄 藤井敬忠

安田 仝 嘉春

同 仝 嘉信

原田 仝 寛運

小塩 源知庸

同 藤井明之

原田 仝 孝福

衛士 上七位下

藤井主佐掾藤井積慶

同伊賀掾仝孫慶

無位 松井 保之

重 定信

同 久敬

同 正秀

御香水使

前川集父義陳

同主祝父義貞

鉾之役人

藤田 允義

安田菅原良恭

幡鉾 神服 宗故

駕輿下近衛部 武部泰長義

同府沙汰人 岡村 祐好

同 孝重

同右近府兄部 大石大和目政房

同沙汰人 小野 勝後

同左兵衛府兄部 長濱 忠政

同右兵衛府兄部 岩井 邦泰

四府駕輿丁



出納

藏人方

僅四位上 平田丹藏權頭中藏修

伯尊

右近府廳頭 同少丹記 公職明

御藏小令後藤山科安藝守紀正之

五位下 同 大監物全恒

同筑前守全生春

後位上 栗津因幡守忠職敬

後位上 眞繼大和守齊部能弘

後位上 山科奈衛大尉紀孝正

所衆 五位下 結城丹波守藤原秀雅

濱路阿波守多宗正平

岡田豐後守菅原宗柄

土橋淡路守平重威

出入 五位下 藪土佐守平清好

平南邀 結城筑後守藤原秀伴

五位上 村井周防守全政敬

濱路大監物全正平

五位下 岸越前守佐伯昌信

土橋對馬守平種永

五位下 袖岡伊豫守橋景命

岡田兵庫大允孝柄

行事所 正六位上 深尾右將監原職利

圖書寮 五位下 長野圖書見元祐親

權大尉 藤井圖書見元義敬

同史生 五位下 小嶋伊勢守長敬



同長掾全右隣

內藏寮 送六位下 深尾內藏少藤金長

官人 送六位下 垣內 大江匡久

送六位下 同尾張公 全匡盛

同史生 送六位下 東川丹波權掾菅助

主水司 送五位下 橋本主水祐幸益

送六位下 同伊豫公 永益

同史生 兼水部 服坂主佐目藤貞重

送六位下 田中 源容德

修理職 無位 西池 加茂郁頭

德岡 大江平成

戶屋主 送五位下 弓削右馬少屬伴心經

下南座 無位 能勢 攝賴元

仕人 佐々木 源正長

大江 大江德之

佐々木 源正義

德岡 小野久利

和田 平繁成

宇都宮源光伴

佐々木全親保

宇都宮源光信

言田 藤原清義

同 全 康起

藤木全 泰賢

岩佐 攝光能

同 全 光賢

黑瀬 源保常

野々口 攝安親

金殿

御車童子

御車副



御車會人

平井 源文教

岩佐 全光文

岡田 全邦寬

河辺 全為親

平井 全恭定

安田 全尚章

西村 藤原有善

惣司 全有恒

同 全有好

吉田 全乾重

茨川 源友良

同 全真宰

吉村 藤原義啓

黒川 全秀勝

御車大御車副

御車棧持

同榻持

掛竿持

鎰取

右近府鼓師

同鉦師

陰陽

大佛師 法橋

院兼仕 法眼  
兼中經藏  
法橋

繪所 同

女役

一采女

二采女

三采女

主殿司

加納 藤原重義

弓削 伴守剛

瀬尾 全長發

大黒 安倍有範

七條 康教

濱岡 道泉

同 道以

木村 了琢



内教坊

闈司二人

檢非違使

五位上 勢多大判事中原章武

送置 小佐治右衛門少尉藤原光文

送置 澤村右衛門少尉全成雄

送四位 堀小路左門大尉右弘隆

堀川左門大尉全宜弘

送置 河端左門大尉藤原清益

五位 町右衛門上長孝

送五位 勢多大門大尉廣章甫

堀川左衛門大尉大石弘亮

送置 堀小路右衛門少尉全弘壽

送置 小佐治左門大尉藤原光敦

五位下 堀川右衛門推大尉治弘

五位下 堀川右衛門推大尉治弘

五位上 町口右衛門推大尉埴夏萬

五位下 高木左門大尉源隆吉

澤村右衛門推大尉成雄

高木左門推大尉源隆德

堀川左門大尉大石弘亮

瀧口

送六位下 岡田左衛門大尉源知綱

五位下 山路右衛門大尉平信順

五位下 坪田左門大尉源貞健

福井右馬大元源心國

六角右衛門少尉全敦義

岡田右衛門大尉源義綱

戶田左門大尉加茂重敬



小林右馬大允兼芳秀  
平本左馬大允全政清  
安見右門少尉源宗矩  
世繼左門大尉藤原重登  
水谷左門少尉攝政威  
小野右衛門尉小野政本  
速水左衛門尉藤原常緒  
津田筑前介全義具  
並河左門大尉平尚教  
津田左門少尉藤信以  
宇佐義至門少尉全祐正  
平本左衛門少尉全政清  
井上左衛門少尉源忠一  
川尻馬少允全珍武

後六位上

正位下

野村左兵衛少尉攝政良  
和田右衛門少尉平雄次房  
木下右兵衛少尉豐秀右  
藤村左衛門推大尉藤原重慶  
小林右馬大尉全芳秀  
三宅右門推少全光潤  
戶田右門推尉賀茂重崇  
中神左衛門少尉友富保  
水口左兵衛大尉源久正  
荒木右兵衛推大尉宗親  
津田右馬少允全貫  
伊良子阿波全源光信  
栗津左兵衛少尉平清光  
中神出雲介全良恭

從六位下



津田左馬允光孝義為  
田原左衛尉全正直  
石井左馬允宗治正心  
藤林河內介藤原重正  
川口右馬允源常珍  
坂本右兵衛允平重麗  
田原左馬允多正道  
西池允兵衛尉源成頭  
井上左馬允源忠一  
林 長門允多亮英  
赤尾左門權大尉平可功  
坪田右門權大尉源貞階  
飯室左馬允今忠信  
安見右馬允今宗政

左右近衛府

從五位上 調子左將監下毛野武道  
從五位下 土山右將監泰武宗  
水口右將監久部清季  
三上右將監泰武分  
村雲右將監藤原謹信  
水口左將曹身部清義  
從五位 鈴木左將曹紀淑亮  
山本左府生源尚定  
三宅右將曹源意吉  
村田左將曹藤原武職  
鈴木右將監紀宗城  
土山右將監源武宗  
岸大路左將曹攝持礼

京本津抄卷之三



三上左將監泰武應

村雲左將監友承睦信

渡辺左將監源供壽

吳孫 水口右將曹身余清秋

調子左府生泰武頭

山中左將監大江泰全

水口右將監身余生清

調子左將曹下毛野武發

三上左將曹泰常勝

鈴木左將曹紀淑種

水口右府生身余清誠

後孫 三宅左府生源意重

進藤右番長源定明

富左將曹下毛野敦栄

調子左將曹下毛野武起

水口右府生身余清秀

土山左府生泰武量

三宅左將曹源直中

水口右府生身余清秀

同左將曹余清俊

三宅左將曹源意吉

水口左將曹身余清輝

山中右將監大江泰全

從孫 調子右府生泰武照

藤木左府生同常敬

山本左府生源尚定

三沢右將曹余為實

上田右府生源宣衛



鳥山右將曹源吉伸  
岸大路左將曹攝持慎  
水口左府生身部清久

調子左將曹下毛野武道  
水口左府生身部清保  
土山右將曹源武邦  
冨右府生身部野敦栄  
調子左將曹今武發  
村雲右府生身部可信  
土山右府生身部武資  
調子左府生身部野武篤  
山中右將監生大江義全  
河北右番長藤原房義

無位

中川右府生源意直  
松宮右番長友義信  
土山右府生泰武利

川合右番長平雅貞  
松田左番長友祐之  
山中左番長大守全  
松宮左番長友信篤  
進藤左番長全光武  
三沢右番長源為淑  
進藤右番長友定連  
入江右番長源義行  
三宅右番長全直威  
香山右番長全徳弘  
伊佐右番長全清綱



水右番長身人部義寧  
上田左番長源宣順  
田中左番長平盛忠  
橋本右番長源政恒  
入谷右番長全清貫  
上田右番長友承忠亮

後院廳官

正六位下 同 出羽守 房直

後院所衆

正六位下 佐多木刑部大丞源朋遠  
七條主稅次慈全則榮

正五位下 六宮衛門權大尉藤信載  
正六位下 同 大和公明哲  
正五位下 七條左兵衛大尉友則榮  
後五位下 南宮衛門權大尉安藤頭

後院召次

後五位下 內藤若狭守友叙純  
正六位下 小山右將監全久定  
石川右兵衛權大尉源經茂  
丹藤重久右藤原叙久  
山田左兵衛尉源重度  
奥村左衛門尉平良弼  
後六位上 山本左衛門尉武多顯



後院侍

後四位上 畑丹波守源親之

後四位下 三上大和守泰景支

後四位上 柳小路左門大尉弘隆

後四位下 河端左門大尉藤原清益

速水左門大尉全長益

同修理權亮全裕益

五位下 齊藤左門大尉藤原盛益

山形左門大尉全憲澄

六位下 松波左衛門尉藤原光信

畑左門大尉源經仲

後五位上 坂本左門大尉賀茂以直

岡本左門大尉賀茂氏臣

三上右兵衛大尉泰景階

後五位上

世繼左門大尉左系重遠

齊藤左門大尉全盛益

畑右衛門大尉源綱之

松波右衛門尉藤原光信

河端右門大尉全護益

坂本左衛門大尉賀茂有保

山形左門大尉全憲清

岡本左衛門大尉賀茂清度

同右京少進全清伸

速水左馬大尉藤原基益

同木左門大尉全忠益

松波若狹介全先友

同遠江介全賢之

三上河內介泰康壽

後五位下

後六位上

後五位下

正六位下

正六位下

正六位下

正六位下



後院北殿侍

後五位上 藤木周防守智堅直

後五位下 岡本美作守全清谷

後六位上 富元將苗下毛野敷邦

後六位下 岡本出羽介加茂清水

藤木左兵衛尉直元

上北面 後五位下 松尾

藏人 後五位上 松室

神祇官 後五位下 鈴鹿神祇少副中長隆啓

同神祇權少副全連胤

同神祇權少副全勝文

吉田神祇少副部良知

河津神祇少副部盛光

鈴鹿神祇權大祐臣長存

後四位下 同神祇權少副全芳春

同上 同神祇少祐全種功

同神祇權少祐全照明

吉田神祇權少副部良采

後五位上 鈴鹿神祇權大祐中臣通安

後五位下 山口神祇權大祐紀以昌

後四位下 吉田神祇權少副中臣良知

正六位上 時岡神祇少佐忌部茂有

丹膳司 後五位下 濱嶋志摩守宮橋美庭

同史生 村岸和泉掾源廣衢

孫藤周防掾源忠晴

同大和少掾 全忠保



同膳部後七位上

松下能登目伴季行

須藤伊豆目藤往吉

木田伊賀目全采福

和田出雲目全正通

松下大和目伴季靜

藤田甲斐目後康長

御厨子前頭五位下

高橋采女正紀宗謙

同番衆後五位下

大隅義作守後系時忱

同小預後六位下

同阿波介全正微

上御倉五位下

立右京大進全宗敬

後五位上

同加賀守全宗謹

下御倉五位下

多左將監多忠壽

五位下

同左將監全忠賀

院雜色

座田宮丹次魚紀重慶

同右兵衛大尉紀維貞

吉田出羽介佐伯元秀

後五位下

原田陸奥介攝寧遠

座田安房介紀重慶

同若狹介紀維和

田中近江介後系正一

樂人

京篳篥

南笛 五位上

奥丹波守拍好古

日笙

日笛

奥豊後守全好文

天笙

日篳

東儀出羽守全俊壽



南笛

天笙

月笛

南月

月篳

京月

天笙

月篳

京月

南月

天笙

京篳

天笙

岡安藝守今昌億

在南都窪越中守今迎繁

多三河守多久頭

蘭越前守今秦廣益

多羨濃守多忠惟

窪甲斐守物迎俊

在天津林肥前守今秦廣治

多阿波守多忠臣

蘭大和守今廣名

辻相模守物賢則

多肥後守多忠愛

在南都芝筑後守藤原葛房

山井伊豫守大神景典

東儀近守今奈文拍

久保丹後守拍光亨

多備前守多忠誠

安倍日幡守安倍兼實

在南都奧能登守拍好學

芝石見守今系甚高

多根津守多忠壽

南月

京月

南笛

京月

天篳

南月

京笛

月篳

南笛

月月

天笙

京月

天篳

京笛

京相璠卷二十一



天軍 在天寺 東儀美濃守太秦彭清

月笛 岡壹岐守今昌好

月軍 東儀播磨守今復鷹

南月 在天寺 園駁河守太秦廣邑

天望

京日

天笛

月望 園備後守今昌長

南日

月笛 上越後守今真節

天軍 東儀河內守太秦文靜

南笛 辻右將監拍近陣

日日 在京都 奧左將監今行業

日日 在京都 芝右將監藤原葛忠

京軍 多左將監多節文

天日 東儀陸奥守太秦俊里

南日 窪備中守拍光張

京日 安倍右將監安倍季光

月望

月軍 同右將監多久映

日日 從登卒 同右將曹今忠克

南望 在京都

天軍 東儀若狹守安倍季熙

月望 林筋前守太秦廣守

南望 辻伯耆守拍則正

天笛 岡仙馬守太秦昌福

日日 東儀伊勢守今賴玄

南軍

京軍



京笛

多右將監多久康

天篳

東儀薩摩守倍李芳

日笙

在天王寺

京笛

豐右兵衛少尉豐原時鄰

南日

正合下

辻右將監拍高範

天笙

在天王寺

園右衛門少尉大森廣道

京篳

日笙

多左將曹多忠功

日篳

多左將曹多節長

天日

東儀下野守安倍季貞

南笙

辻左將監拍高節

京篳

安倍右將監安倍季愛

日笛

在天王寺

多左將曹多忠賀

天篳

東儀若狹守大森俊愈

日笙

日

園兵周防守今廣麩

京笛

山井左將監大神景順

南篳

窪右將監拍近熙

京笙

多右將曹多忠廉

日篳

多右將曹多成宗

日笛

多右將曹多忠古

日篳

安倍右將曹安倍季貞

日笙

多左將曹多久幸

天笙

正合下

林左兵衛少尉大森廣繼

日笙

在天王寺

園常陸介今廣肝

天笛

岡左兵衛權少尉大森昌次

南篳

窪右邊將曹拍近頭

天日

東儀右兵衛大尉大森善言

京日

多左邊將曹多忠孝



南笛

芝右近將曹藤原葛鎮

京箏

多左近將曹多久隨

天笙

林右兵衛少尉太養廣海

京笛

豐筑後介豐原喜秋

月日

豐左兵衛權少尉今新秋

南月

芝右近將曹藤原直温

天笙

園撰津介太養廣憲

南笛

上右近將曹拍直行

月日

上右近將曹今近禮

天箏

東儀右兵衛少尉太養文禮

月日

東儀左兵衛權少尉太養文陳

京笛

山井左近將曹大神基萬

天笙

園遠江介太養昌和

在江戸樂人

天箏 正卷下

東儀兵衛權少尉落李達

月日

月笛

東儀長門守今勝長

京笙 後卷下

多上總介多時久

天笛

岡近江守秦昌論

月箏

東儀筑後守今教長

月笙

月日

南月 正卷下

辻土佐介今久天

京笛 後卷下

山井安藝守大神景安

天箏

東儀大隅介太素弘長

月笛 正卷下

岡駿河介今昌與

京日

多出羽介多忠敏

天箏

東儀伊勢守太素泰直

月笙

園相模介今廣次

南月

辻薩介今多久臣



天筆

東儀左兵衛大忠左虎

總御樂器司

烏丸佛光寺上

神田大和藤原定光

京都南北洛中

京極通

寺河をせと云ふ御三路口の  
南之系橋宿と又云世川  
を南へ云ふ系寺内新倉を七系  
通とてあり

此通り松原をう上ルをて云ふ  
寺陰建住はくおまゐる寺

御幸町を

大園寺を公体見堂  
城のくたを月の左の

そりくを住ふ小丸を何より南  
より西橋をうとまをり下ち何へ  
を流正親の西の方天和二  
のく初て開く竹林の過ふとふ  
又六をより南七系材木河まで

白山通

昔は白山より西を橋と  
云ふ所のありし所ふと云  
所と云ふ丸を河をより南の系橋

京極通



谷をうけて白山の社に押出た丁あり  
布衣堂業所 相日社ゆえ

富小路通 南小右ふ同じり多末橋  
通よりかきあつて

東小右寺内新屋ありて  
子種稲の丸を南下 和名屋林の法 上河

万葉小路通 柳より通してより南小  
右東天祥社 湯小路町人家ありて至

堀河通 け通より橋東町の河門を  
二重をのりて八枝木河

通は東邊より赤倉の寄松より  
小丸を河をより通して後小路を  
又より通より赤倉橋をまで

けをより通して河と夕影塚合臨  
西へ八人のうらあり

三合通

けのゆのゆ小昔頂ありて  
け日甚るふの寺ありし

ゆのゆのゆ二重をのりて頂ありて  
此のゆの小丸を河をより通して  
門ありてあり又より通してあり  
東小右松敷とけを河よりあり  
毎りてありの市あり

間之河通

小丸を河をより通して  
ゆをより通して其屋敷あり

と又より通して河と一河ありて又  
万葉小路をより通して七重をまで

東河通

小丸を河をより通して  
七重をまで通してあり

ゆのゆのゆ小丸を河をより通して  
南小右竹田の街あり

車小路通

小丸を河をより通して  
をより通してあり



南へ七つありとて因幡美作の富後  
とも又不の門をともふ

鳥丸通 小八上五雲上九柳島子  
南へ七つありとて因幡美作の富後

両智町 小八丸を河通とてりてを  
と又言はるるも又言はるる

青内と六流河をとりけりて昔  
二条をさす事と流を在坂色一日伝

天の八中平太直徳の好法も貴人  
伝居り古くこととせり

室町通 小八くさ白上山を  
南へ七つありとて因幡美作の富後

衣松家板 小八上を河をとり  
南へ七つありとて因幡美作の富後

新河通 河尻をとりてりて  
河尻及とて云ふ家二条の

谷を在富後 小八中を河をとり  
南へ七つありとて因幡美作の富後

西河通 小八武老を河をとり  
南へ七つありとて因幡美作の富後

小八作の河をとりてりて  
南へ七つありとて因幡美作の富後

小八作の河をとりてりて  
南へ七つありとて因幡美作の富後

小八作の河をとりてりて  
南へ七つありとて因幡美作の富後

小八作の河をとりてりて  
南へ七つありとて因幡美作の富後

小八作の河をとりてりて  
南へ七つありとて因幡美作の富後

小八作の河をとりてりて  
南へ七つありとて因幡美作の富後

小八作の河をとりてりて  
南へ七つありとて因幡美作の富後

小八作の河をとりてりて  
南へ七つありとて因幡美作の富後

小八作の河をとりてりて  
南へ七つありとて因幡美作の富後

小八作の河をとりてりて  
南へ七つありとて因幡美作の富後



小川通

小川寺の内をよりあり  
江戸通判をよりあり

より七多きをよりあり  
天段家後よりあり

油小路通

小川寺の内をよりあり  
七多きをよりあり

昔稲高の山麓に依りての樹をよりあり

中筋通

小川寺の内をよりあり  
より七多きをよりあり

碓が舟通

此筋よりあり  
十二河あり

又碓が舟をよりあり  
江戸通判のよりあり

碓が舟後河よりあり  
又碓が舟よりあり

西に碓が舟よりあり  
江戸通判のよりあり

江戸通判のよりあり  
江戸通判のよりあり

東堀川通

小川寺の内通よりあり  
江戸通判のよりあり

江戸通判のよりあり

芥川。埋川。白川。思澤川

面川。淺川。若川。内川

流川。面新川。言新川

江戸通判のよりあり

西堀川通

江戸通判のよりあり

江戸通判のよりあり

江戸通判のよりあり

江戸通判のよりあり

岩井通

二条御城よりあり

江戸通判のよりあり

江戸通判のよりあり

江戸通判のよりあり

横越通

小川寺の内をよりあり

江戸通判のよりあり

江戸通判のよりあり



けの道より総領をぬりぬきしを角り  
たる北五丁河と杉橋子の杉あり

**黒門通** かひんをきりぬる丸を河と  
又出地をりぬる味をこと

新河と云又出地か松をりぬる味を  
事と云竹崎と云けをに東五丁  
と向ふ奥を河をりぬる味を松原と云  
昔より竹崎城をぬり

**大宮通** けをりぬる丸を河と  
名と云大宮の味をぬる

けをりぬる丸を河と云りぬる味を  
毎城川の味をぬるじと云事と云  
川と云古あり今にけをりぬる味を  
河をりぬる味をぬる又竹崎河  
よりぬる味をぬるけをりぬる味を  
よりぬる味をぬるけをりぬる味を  
竹崎河をぬる味をぬる又竹崎河  
も鳥羽山等大坂への御をぬる

**松原通** かひんをきりぬる丸を河  
下丁と云味をぬる味をぬる

をぬる味をぬる又けをりぬる味を  
二丁の間をぬる味をぬる丹波口へ  
ぬる味をぬる味をぬる

**日吉通** 北へ一をきりぬる味をぬる  
味をぬる又出地をぬる

下六丁と云味をぬる味をぬる  
号へぬる味をぬる味をぬる  
城の御門は味をぬる味をぬる  
日吉と云味をぬる味をぬる

**香取通** けをりぬる味をぬる  
味をぬる味をぬる

号へぬる味をぬる味をぬる  
をぬる味をぬる味をぬる

**表の門通** かひんをきりぬる味をぬる  
味をぬる味をぬる

味をぬる味をぬる味をぬる



津福寺通 而小多のまを住なりと  
あり。一寺千本の角に

修福ちと云寺あり也。より多く

土色河通 上も若河の平水うで  
二丁の同也

ふ本通 ちうて若権と云ふハ  
丹波く新々をともり

あり地名よりしてゆらんふ本と云  
又甚月智ちの境月津と云ふは  
堂茶の千よりあり下互貴通と  
夫の南へゆらんの一ゆへ七寺未権  
修福をとも

○寺河の東二寺ふの部

彩鳥丸通 寺河の東のちうへ  
二寺ふ若神口とて

彩橋本河通 寺河の二つゆふ  
二寺ふ丸を河と

河本河通 寺河の二つゆふ  
小ハ若神口とて

をと又けをりの二寺と角念の某  
の居ふあれは角念をともり又  
けをりの若神口とて若神あり

中河通 寺河の二つゆふ  
斗の川と云ふあり

ちよ河通 河本河の東河と云  
小の河とは若河と云

夫よりありは下河家ありてまゆを登  
ちよの河とてあるはちよ河の寺  
とて彩橋本河の北の段と彩河と云  
を以てたて河橋を河と云ふはまた  
寺と云河をちの傍とてあるは  
ちよ河の北の段と彩河と云  
を以てたて河橋を河と云ふはまた  
寺と云河をちの傍とてあるは



新之井木町 ち町ふらゆ木町川より西一筋ちちふ

丸石町 丸石川より西一筋丸石白と

樵木町 是ニ木川也

この町の門ふらふ下西側生馬の道木町あり東側が香川の流とせまらけて南とて川をめぐりゆかゆかりなる所也とせまらりそと角金氏の土居の土居ありゆかゆかり又鴨川岸生馬料理とせまらるる所也

○寺町 鴨川と間

河原町 あまらうと

ゆかゆかり一丁ゆかゆかり

西木町 西木町

ゆかゆかり一丁ゆかゆかり

木を町 木を町

西石町 西石町

ゆかゆかり一丁ゆかゆかり

○下町 下町

ゆかゆかり一丁ゆかゆかり

ゆかゆかり一丁ゆかゆかり

ゆかゆかり一丁ゆかゆかり



竹田信元 子 西宮河津入

南宮河津入 南宮河津のほら

古河通 下河津を長く二河

ふあま河 西宮河を長く二河  
りふあまをふあま河

東西河中

鞍馬口通 かの口で鞍馬

のふのふ西宮河を長く二河  
はの口まで

上法興寺通 上法興寺河 西法興寺

虎山寺通 上法興寺河 西法興寺

寺の河通 上法興寺河 西法興寺

上法興寺通 上法興寺河 西法興寺

ふけ通 上法興寺河 西法興寺

上法興寺河 西法興寺  
ふけ通 上法興寺河 西法興寺



須磨河通 東ハ小川をより西ハ少老をよのちをよ

切のい節治織を組とるあり

今出川通 東ハ古河をよの東川をよ

西ハ古河をよの東川をよ

のねと西河をよの東川をよ

河原河通 西ハ古河をよの東川をよ

西ハ古河をよの東川をよ

武者少路通 東ハ古河をよの西ハ小川をよ

又け節ふありと大入通より西

ハ少老をよのちをよの河をよ

並をよとよ

一條通 東ハ馬丸通より西ハ

正親河通 中ハ立寄通より東ハ

寺河門通 上ハ古河より西ハ

中ハ立寄通より

中長者河通 東ハ古河より

西油少路をよ

下ハ古河より西ハ

近衛通 出水通より西ハ

勘解由少路通 下ハ古河より

通 西ハ古河より西ハ



中河門通

まうて橋本河と  
なまうと丸をな

西日寺通すて新河を堀川と  
免老なるり

春日通

丸を河通とつる東  
ハ寺河より西日寺に

通と但し寺河より東ハ新丸太  
町通と定てお堀川河とすして東

ハ列とあると法外の部とをなすし  
竹野町とをふふ寺町

大炊通

革堂のおる西堀川と

冷泉通

赤川通とつるふふ河  
そふおかき

二條通

河通北側より上と上京  
と云お例を下と下京

と云是上京下京の境ハ河通と云  
二条川京橋本町より西ハ寺町と

はあり少く北より寺河通と

堀川をととて河野寺を橋本と

押小路通

上ハ寺町通より西ハ  
油小路通まで但し河

少く南東ハ入道子あり川京町ハ  
出るはふるおの番子とつる

三條坊門通

上あてハ八幡町を  
とつる西よりハ河他を

とのふ東ハ寺河よりハちとをの  
お神泉苑のおとを西ハ南河原の

山門ハ又場所のおと河所ハ八幡の  
社あり

姉小路通

上ハ寺河通よりハ  
上河原寺と東河原堀

がとと又ハ河原よりハ一ハ  
西ハ大宮をの河とハ油小路ハ入道

昆河門とあり

三條通

上ハ京田口大橋也  
おハ大宮をの河と



又の流縁ありてこのなほあり  
粟田白煙とのありて又摺の東西  
旅籠ありて一とつてのありては又  
新とてはね一切のありて

松原寺通

古角をとりていひて  
ち何のちをありて

東洞縁の古角を頂法寺あり

四條坊門通

坊美のありて  
ち何のちをありて

坊門ありて河下空也事ありて下湖  
上河を下有越後町常接ありて

深小沼通

あねちをとりてありて  
奥市ありて

四條通

ち何のちをありてありて  
ち何のちをありて

けのち河國の門ありて河川とて河國  
町とては女子をありて右科河國町  
紅香黄を建てては舞臺のありて

又ち何のちを丸也とて二月離る形  
八月大將の形とては中法衣僧を師と  
ありて又建信のありて角と仲河ありて  
七月のありては終とて何のありてあり  
ち何のちをありては母とて河國のありて  
とては天のありては終とて何のありて  
中はを角とて大津とて社建る

徳小沼通

ち何のちをありてありて  
ち何のちをありて

小原坊門通

仏をとりてありてありて  
ち何のちをありて

けのち河國の門ありて河川とて河國  
町とては女子をありて右科河國町  
ありて河國のありては終とて何のありて

言辻通

ち何のちをありてありて  
ち何のちをありて

けのち河國の門ありて河川とて河國  
町とては女子をありて右科河國町  
ありて河國のありては終とて何のありて



二河通

五子通と云ふ一六  
 五子坂は清三つあり  
 五子坂の所へつづきと。五子水  
 門から車舎子安塔を流しゆれば天  
 子河南側を流す。あがハ、經書堂  
 五子坂と少つ終ハ、坂の所をか  
 出の庚申をのちと少つ終ハ、五子  
 五子の報音。七報音と云ふ。河  
 出祇園をまぬのちつづき、河  
 又さんねの坂の所と西へけハ、松原を  
 〇は、坂の所と西へけハ、松原を  
 けハ、安井寺門の所へつづき、少つ  
 祇園を流す。河の所へつづき、河  
 〇は、坂門から十九又、坂上人形、清三  
 清三坂や。

〇日下川の西へつづき、河あり、そのま  
 南へ流す。西へつづき、河あり、そのま  
 流あり、西へつづき、河あり、そのま

〇日下川の西へつづき、河あり、そのま  
 南へ流す。西へつづき、河あり、そのま  
 流あり、西へつづき、河あり、そのま

〇日下川の西へつづき、河あり、そのま  
 南へ流す。西へつづき、河あり、そのま  
 流あり、西へつづき、河あり、そのま

〇日下川の西へつづき、河あり、そのま  
 南へ流す。西へつづき、河あり、そのま  
 流あり、西へつづき、河あり、そのま

〇日下川の西へつづき、河あり、そのま  
 南へ流す。西へつづき、河あり、そのま  
 流あり、西へつづき、河あり、そのま

〇日下川の西へつづき、河あり、そのま  
 南へ流す。西へつづき、河あり、そのま  
 流あり、西へつづき、河あり、そのま

〇日下川の西へつづき、河あり、そのま  
 南へ流す。西へつづき、河あり、そのま  
 流あり、西へつづき、河あり、そのま

〇日下川の西へつづき、河あり、そのま  
 南へ流す。西へつづき、河あり、そのま  
 流あり、西へつづき、河あり、そのま

〇日下川の西へつづき、河あり、そのま  
 南へ流す。西へつづき、河あり、そのま  
 流あり、西へつづき、河あり、そのま

〇日下川の西へつづき、河あり、そのま  
 南へ流す。西へつづき、河あり、そのま  
 流あり、西へつづき、河あり、そのま

〇日下川の西へつづき、河あり、そのま  
 南へ流す。西へつづき、河あり、そのま  
 流あり、西へつづき、河あり、そのま



こての通り又とてあるはくせんおと  
下りの道有太公の河の通りあるは  
船へ大津街なるりひきんまより  
建仁寺の河をてい道ははる程海  
多し一太橋西詰下ル門の橋  
の社あり 河西入津名をり  
あやと流る月夜ありけは信家不  
大内書院時代の町家の形跡あり又東  
四條より西の河と千の河をりや  
るありとて無名の河あり

揚梅通

せつと河と云ふは  
うんをり 醒弁と

沙金町

東は東の河  
西は新町とて

的場通

たよ田

六波通

奥の店をり  
東は下り河とありあり

醒弁をり

東は新町とて  
西は河余の同タ

佐女半通

東は下り河とあり  
西は下り河とあり

上津板倉町

東は下り河とあり  
西は丸をり又

中津板倉町

東は下り河とあり

東は下り河とあり  
西は下り河とあり

下津板倉町

東は下り河とあり

東は下り河とあり  
西は下り河とあり



又新河より堀川と申す終り  
七条通 今川大佛の通

大工通の西条権様現ねの尾  
浄慈宗末の丹波への街をさうり  
のゆかりの西門の西門の西門の  
新河より 西門の西門の西門の  
と居るを新河と申す 同の河の  
終りあり

堀小治通 今川七条下の通

西七条通 今川七条下の通

八條坊門通 今川七条下の通

大工通 今川七条下の通

堀小治通 今川七条下の通

大工通 今川七条下の通

八條通 今川七条下の通

針が小治通 今川七条下の通

西九条通 今川七条下の通

九条坊門通 今川七条下の通

唐橋通 今川七条下の通

九條通 今川七条下の通

九條通 今川七条下の通

九條通 今川七条下の通

九條通 今川七条下の通

九條通 今川七条下の通

九條通 今川七条下の通

九條通 今川七条下の通

九條通 今川七条下の通

九條通 今川七条下の通

九條通 今川七条下の通



かき川が東の勢

同館河通 みまの橋をたぬく  
大佛は西までけり

まがとの丁物 ふ同をぬく

勘町通 みまの橋をたぬく  
二つりもぬく

のり七の通 てりぬく

ゆん街通 みまの橋をたぬく  
二つりもぬく

泉涌寺への分道 ありぬく

他一の通り 大仏の東にありぬく

り橋の南 法隆寺ありぬく

みまの通 法隆寺の南の通なり

次南 二の橋よりぬく

地蔵寺 法隆寺の西にありぬく

の里のま 今留のまありぬく

又法隆寺の記 ありぬく

小の門 ありぬく

空ふ安 ありぬく

井止二 ありぬく

ありる ありぬく

獨居水 ありぬく

門の上 ありぬく

次南 ありぬく

ちの大 ありぬく

河中 ありぬく

三の橋 ありぬく

一神 ありぬく

ついで ありぬく

續と ありぬく

。橋 ありぬく

号 ありぬく



次南の方の森土付路への道は  
次々深き下り依り各所のつゞく

伏在町筋 みまき 下り大正町筋

小八松筋通より南へ大正町筋と  
耳塚の筋の筋は筋筋筋筋

大正町筋 みまき 下り大正町筋  
を南耳塚筋を南へ大正町筋

大正町筋又大正町筋の筋と小門筋  
と云これ古六浦屋敷小門筋

大佛仁王門通 みまき 下り大佛仁王門通

ハニ多上行大町筋より南へ大正町筋と  
通云又大正町筋を南へ大正町筋  
海原の筋より南へ大正町筋あり  
建仁寺何と云あり大正町筋  
南へ大正町筋より南へ大正町筋  
通漏ちる云大正町筋

けをり建仁寺何門の筋と大正町筋  
あり又大正町筋を下り大正町筋  
大正町筋より南へ大正町筋

汗谷道 みまき 下り大正町筋

大正町筋又北門筋と大正町筋  
小正候大正町筋

大正町筋内小町

建仁寺何門筋と大正町筋  
大正町筋より南へ大正町筋

建仁寺何門筋と大正町筋  
大正町筋より南へ大正町筋

大正町筋又大正町筋の筋と大正町筋  
大正町筋より南へ大正町筋

知恩院新屋敷町 みまき 下り大正町筋

大正町筋より南へ大正町筋  
大正町筋より南へ大正町筋



ゆり五ヶ丘のあ通橋を向とりし  
西へ延びてくる又なる橋と云ふは  
ふ門橋のりつ坊あたりに右左石塔と  
木の形なるをこふ門のりつ坊を  
とらりて孤堂と云ふ所のありけるこ  
より南へは八ヶ丘と云ふ孤堂所の内  
僧殿の下と云ふは町南東角にふま  
と云ふ僧に於て王と云ふは五ヶ丘のり  
祇堂と云ふの寺長のお別下河東より  
ありはるふ長寺と云ふ寺  
双橋寺へりりて又南へりてあり  
たを寺に双橋寺門と云ふありて  
町にありはるは井町と云ふ町と  
ありはるはまらわの町と云ふ町と  
祇堂屋敷と云ふまらり南、西りた  
安井町門のりつ坊の通と云ふ所の  
祇堂と云ふはありて寺と云ふ寺  
ありて用を永天町と云ふは南東角に

菊水井ありて西側土蔵寺殿を  
りて寺門ありてはふ丸祇園南所  
金園町と云ふ古所と南にりて八坂塔  
のありけるこふまら寺門の南より  
ありて御所の御音寺と云ふありて  
東南二筋のりつ坊の寺と云ふの  
りつ坊のりつ坊の寺と云ふのりつ坊  
はの焼煉戸ありて寺と云ふ

三條南裏町

二条より一車ある  
村の馬は町あり

八ヶ丘と云ふ町と云ふは白川橋  
川下御音院のりつ坊のりつ坊  
目と云ふ町、橋ありて町ありて  
東の通古町と云ふ古のりつ坊  
ありてはるは御音院のりつ坊  
町名ありてありてはるは御音院

いささ法盛  
こらりや ちんちんやま



下之新寺地

元禄十六年  
寺町元吉如堂源新寺地

扇町 要町 尾庭町

大工町 志之屋町 大工町

美町 栢笹町 新杉町

大坊面(内之町)永六生年下之町  
新地建家(下之町)

元禄十六年

七條川系新寺地

二之町 下二之町 三之町

下三之町 十禅所 大工町

八王子町 新日吉町 栢町

南東町

宝永六年

二條川系新寺地

新寺名福中町 新乃之町新町

旧坊町和園町 旧東源院系例寺

旧西側若竹町 旧栢場系例寺

旧西側約美沙町 旧東町系例寺

旧西側光産新町 旧宮之海濱系例寺

系例新杖屋町之福中町

西側新寺町長倉町

新地寺町系例寺門町

旧西側文志町

旧通下(北)系例系美町

西側系天町

右(外)之寺方二指七寺引給

力(之)分(之)

旧年

寺町東表寺(二)系寺地

口(之)寺(之)下(之)新寺地(之)

二系通標本町



寺町通東側若盤町

同本町 新島九位院町

跡町 赤松本町 梅本町

柳町 榎町 新橋本町通橋町

東玄門町 西華堂町 南金町

右外堂之方 或之方 左外堂

寺 草堂引橋

同辛

寺町之之中寺跡新地

一町目 二町目 三町目 四町目

新牛園町 依町 三ヶ倉町

新善徳町 之右邊町

正徳二辰辛

建仁寺跡新地川東

又系下り 中系上り

文川筋六丁目 七丁目 八丁目

西河門町 田中町 山田町

森下町 金屋町 川系町

西川系町

同之辰辛

紙園領廣小路新地

末吉町 之吉町 清中町

橋中町 林下町 泉永町

同辛

六條川系新地

事吉町 西菊町 三子町

高文町 富和町 富漢町

漆町 梅沢町

同辛

小土條新地



岩瀬町 堂妻子町 東中筋  
西中筋 早尾町 波止港町  
三子保九辰寺  
みま坂建家 松永通切地地盤

初恩院新地

元町 三吉町 八橋町  
西町 梅中町 徳安町

二條川東登權院領新地

稲尾町 新青牛町 大寺町

内壘新地

宝永の寺より移るる分

- 一 青町 二 五町 三 五町
- 四 五町 五 五町 六 五町
- 七 五町 七 五町 寺二町

六番町通

ふ中の西の通より五番町の西より

六軒町通

六軒町の西の通より

七中松通

七中松の西の通より

此通下の森より一株七中松の西の通より

右近馬場

右近馬場の西の通より

右近馬場通と権内通とをい

右近通

右近通の西の通より



鴻巣

是竹城河沿湯未甲  
の方にはうらと河宇河  
西洞院中書も下河合六町なり

活中過子

① 聖徳太子  
② 聖徳太子

④ 竹登過子

堀河通寺に因  
下ルホ

⑤ 芝の過子

竹登の過子に  
あつたり

⑥ 天祥過子

寺に因通なり川  
より一町あり

⑦ 出雲の過子

山梨の通  
和泉津所なり

⑧ 後友過子

室町河沿に由是節  
一町あり西入あり

⑨ 菅原過子

後友過子のむらう  
木のーちち入あり

⑩ 将野過子

中野の通新所  
西入河

⑪ 松並過子

新所通一町あり  
但りあり

⑫ 常盤井敷過子

西洞院武老の所  
左登井相国の所

⑬ 大塚の過子

西洞院武老の所  
より一町あり

⑭ 一乗殿過子

武老の所より河あり  
十町あり

⑮ 戒光寺過子

中河通をきかると  
西例中なり

⑯ 草堂過子

日通武老の所  
河中なり

⑰ だんごの過子

沖の所をきかると  
西入河

⑱ 富田過子

日河の所



③ 道心はま

寺の巴通を町ふ  
新町を入あまう

③ 宗おはま

この巴通の西ちの  
けまあへお

④ 地獄はま

おの町まきのふ

④ 親せはま

ひか入町まきあ  
まの通あへんあ  
へまきり

④ 多眼庵はま

松林の通まきま  
るを町あへお

③ 石をはま

あは通まきま  
へまきり

③ 平阿ゆはま

か川通まきの町  
町まあへお

④ 山名はま

はありく川あ  
へまきり

④ 佐東はま

まの町まきまの  
あのと町まきり

③ 柳のはま

鳥丸通まきま  
まきり

③ 風呂はま

まきまあへおの  
まきり

③ 川橋はま

まきり

④ かいおのはま

まきり

③ 鳥のはま

まきり

④ 裏はま

まきり

④ 瓢箪はま

まきり

④ 入江のはま

まきり

④ 江戸のはま

まきり

④ 江戸のはま

まきり



③ 久高 過ぎ

後方のほよの郷に  
一名柳中河より  
舟渡る所の河  
りき河

④ 三家 過ぎ

三ヶ家 堀川より  
中河より河

⑤ 難の 過ぎ

あり川通みけより  
一町より西へ

⑥ 曼野 過ぎ

ちまの通みけより一町  
わの節西へ

⑦ 級登の 過ぎ

わの志んで河  
づより

⑧ 美成 過ぎ

室河通今知所より  
一町あり

⑨ 中河 過ぎ

今知所より  
東へ南より

⑩ 今 過ぎ

え登なる通川  
より

⑪ 元登 過ぎ

⑫ 清 過ぎ

え安宿院の下  
より

⑬ 椋井 過ぎ

椋井基所の四  
日通るより

⑭ 聖天 過ぎ

聖天の河  
知所の通みけより

⑮ 藤子 過ぎ

新美の河より  
七中なる今知所  
より

⑯ 又の 過ぎ

其南河  
日通より

⑰ 三吉 過ぎ

右より  
下

⑱ 藤原 過ぎ

津福寺通今知所  
より

⑳ 法 過ぎ

㉑ 殿 過ぎ



③ ぬきあはさま

小川通とまきま下  
中納め入也

又美相のけり又地元のけり

③ 橋のけり

成若丸と一系通  
のちかき丸西入丁

④ 大智寺けり

高の通一系と高  
けり

④ 丸のけり

とまきまのなかま  
菊例の所く

④ 白梅けり

寺河原とまきの  
まきまのけり

③ 竈けり

ち河原と下河  
まきま

③ 大智のけり

日色婦と下河  
まきま

③ 新善所けり

日通新善所南  
の門まきま

④ 板子けり

とまきまのまきま  
のまきま

④ 長門のけり

其の田

③ 天とけり

其の西

④ 宝蔵寺けり

其の西

④ 紙屋けり

とまきまの西

④ 名屋けり

とまきまの南

④ 方本けり

旧やしの新善所

④ 赤屋けり

古河町通の西

④ 金井寺けり

日通



④ 祇安寺はま

日阿南例

⑤ 馬屋はま

とまぐく〜まひぐく  
二所自やり

⑥ 土居はま

日之阿南例去後行  
とら〜禰ゆ村

⑦ 樽のはま

日二阿南例

⑧ 延福寺はま

とらち又阿  
也例

⑨ 才助のはま

とま阿南例  
南例才助と二丁

⑩ 新はま

新ま降はあま  
入

⑪ 橋まはま

とらち中阿あま  
南例中阿あま

⑫ 又はまの

あま阿南例  
親ままのはま

⑬ 岩屋はま

四等通新阿あま  
一名地獄はま

⑭ 身もはま

日阿南例  
定也修まのはま

⑮ 竹之はま

とま阿南例  
例南方と

⑯ 妹はま

姉まはあま

⑰ 宇はま

とま阿南例

⑱ トはま

とま阿南例  
とま阿南例

⑲ 揚梅はま

とま阿南例  
とま阿南例

⑳ 松葉はま

とま阿南例  
とま阿南例

け外栗のしよは阿南例示あま



③ 茨の辻あしのつじ

建仁寺とふたつ河  
よのふらふらとつらふら  
建仁寺河ねんじ  
りふらふら

④ 寺師辻てらし

ねんじとつらふら  
りふらふら

⑤ 蛤の辻かきがひのつじ

りふらふら  
りふらふら

⑥ 土師の辻つちし

りふらふら  
りふらふら

⑦ 蛇の辻へびのつじ

りふらふら  
りふらふら

⑧ 市船辻いちふねつじ

りふらふら  
りふらふら

⑨ 風の辻かぜのつじ

りふらふら  
りふらふら

活湯屋名

清彦きよひこ

活湯屋のふたつ河  
りふらふら

結馬むすま

寺河通のふたつ河  
りふらふら

安居院あんぐいん

寺河通のふたつ河  
りふらふら

本の下ほんのした

寺河通のふたつ河  
りふらふら

安楽寺あんらくじ

寺河通のふたつ河  
りふらふら

柳糸やなぎいと

寺河通のふたつ河  
りふらふら

塔の阪たつのひら

寺河通のふたつ河  
りふらふら

大糸おほいと

寺河通のふたつ河  
りふらふら



百万石下の谷竹そよそよ音たつ  
ひさひさひさひさ人のなまじりなり

**西陣**  
一乗通より北の道  
あかこや西陣とて

**村雲**  
今山通の西や川通  
この村雲の町はけり

あかこや寺とて一乗通の西はけり  
のちかひあかこや津島寺といふなり

**聚楽**  
一乗通より西の道  
あかこやを所いなり

この山通の西はけり  
この山通の西はけり

**松のト**  
一乗通より西の道  
一乗通より西の道

のちかひあかこや津島寺といふなり  
あかこやを所いなり

あかこやを所いなり  
あかこやを所いなり

あかこやを所いなり

**西の系**  
わが山通の西はけり  
わが山通の西はけり

**荒神口**  
寺町通草葎の根まの  
あかこやを所いなり

**栗田口**  
一乗通より西の道  
あかこやを所いなり

あかこやを所いなり  
あかこやを所いなり

あかこやを所いなり  
あかこやを所いなり

**柳のト**  
一乗通より西の道  
あかこやを所いなり

あかこやを所いなり  
あかこやを所いなり

**小結川**  
一乗通より西の道  
あかこやを所いなり

**夜の柳**  
あかこやを所いなり  
あかこやを所いなり

あかこやを所いなり  
あかこやを所いなり



足金の産

三峯通新河(西入町) 山内河津物産全盛

東寺肉

東寺肉 東寺肉 東寺肉

西寺肉

西寺肉 西寺肉 西寺肉

活外名物

木芽漬

木芽漬 木芽漬 木芽漬

あまの漬のわがやうに言ひおきよそふ 木の葉と塩に漬くものなり 又あけむの葉と塩漬くものなり 洗みし洋

心太

心太 和名後 標系村の物

麿茶

麿茶 久野郡宇治町

相傳曰初明惠上人柵尾山植之世人甚愛之然應安年中源義満公大内氏命宇治移植是宇治以テ天下第一茶園七ヶ所有之

磨茶

磨茶 磨茶 磨茶

茶

相楽郡和東庄出之

麥

麦 乙訓郡久我村

味作の精造り 春雨抄西の法師の和名に云ふ



牛蒡

牛蒡子と云く久世郡佐々木庄之相  
柴那瓶系在也

藥草

和名九種汁  
久世郡富野村長

蓴菜

池村親善堂村枇杷庄付也

福草

乙訓郡寺々村より出  
之長官人云々

納豆

伊豆郡新井村より出  
久世郡福草より出  
皆名と云々

麥牙膏

下桂村より出  
かつあやと云々

地黃之石

島田寺の裏山より出

焙餅

紀伊郡小枝橋より出

松茸

日野郡中ノ山より出

水菜

久世郡近在久世之名の  
心生と云々

緑豆

西ノ東村より出

甜瓜

東寺村より出之入相  
柴那瓶付也

楊梅

乙訓郡津谷村より  
出と云々

冬瓜

久世郡中ノ山より出

梅桃

紀伊郡天志谷并  
碓氷村より出

葡萄

久世郡天志谷并  
碓氷の山より出



西瓜

馬場部等村産  
すり出之

柿

相模の菅尾村り出之

楊柑橙抽

日那館村り出之

林檎

馬場部等村り出之

蓋着

安房郡の丸尾村り出之

菜菔

水蓮基寺村り出之  
又吉田村又相模の梅谷  
村り出之

越前茄子

久世郡松尾村り出之  
庄出之他郡村り出之

栗

伊豆郡の舟橋村り出之  
之古之と云ふ

茅栗

安房郡の古河村り出之

皮

古河村り出之

黒木

古河村り出之

縮着席

伊豆郡の古河村り出之  
又深谷郡の本所村り出之

油

乙訓郡の山崎村り出之  
嶺人毒考合と云ふ

藍草

東寺村り出之  
西九條村り出之

杜衡桂

安房郡の中村村り出之  
出之又松の尾村り出之  
出之又松の尾村り出之

棟棠

伊豆郡の井口村り出之  
安房郡の古河村り出之



桔 澄

澄 此 郡 奥 山 田 村 小  
如

蘆

此 存 郡 下 三 栖 村 出 之  
葉 葉 の 音 小 用 たり たり

竹

善 井 郡 善 井 村 出 之  
如 之 小 用 たり たり

竹

似 長 郡 似 長 村 出 之  
如 之 小 用 たり たり

目打竹

小 用 たり たり 之 小 用 たり たり  
竹 代 の 竹 目 之

石

白 川 村 出 之  
石 橋 手 出 之 石 橋 手  
小 用 たり たり

砥石

善 井 郡 似 長 村 出 之  
吾 州 善 井 村 出 之

又 相 本 郡 瓶 系 出 之 如 之

白砂

相 本 郡 藤 背 山 村 出 之  
如 之 用 たり たり 之 用 たり たり

黒土

善 井 郡 似 長 村 出 之  
如 之 用 たり たり 之 用 たり たり

赭土

同 郡 中 山 村 出 之  
如 之 用 たり たり 之 用 たり たり

茶碓

宇 治 郡 宇 治 町 出 之  
之

茶臼

同 町 出 之 如 之 用 たり たり  
如 之 用 たり たり 之 用 たり たり

土

善 井 郡 似 長 村 出 之  
如 之 用 たり たり 之 用 たり たり

又 善 井 郡 本 野 村 出 之 如 之

茶碗

善 井 郡 似 長 村 出 之  
如 之 用 たり たり 之 用 たり たり

土人形

同 郡 似 長 村 出 之  
如 之 用 たり たり 之 用 たり たり



箱笠

東福寺の所あり  
法性寺の所あり

箕

綴在耶の所あり  
出く

深草

綴在耶八幡の所  
あり

曝布

相楽部本津あり  
用之

鷹

高野取を定めし後  
大徳の所あり

桂

綴在耶の所あり  
他あり

洛陽三十三所観音

一畫 六角 烏森 六角堂

二畫 坊基の邊 長金寺

三畫 寺所竹屋所 華堂

四畫 寺所石屋下 下所靈

五畫 古田山口 新谷寺

六畫 五ヶ 吉田寺

七畫 本山 長樂寺

八畫 寺所あり 七銀寺

九畫 寺所あり 青龍寺

十畫 清水子の所 地蔵院

十一畫 清水寺 真の院

十二畫 日 本堂

十三畫 日 新金堂



十六番	七石銀寺	念佛寺
十七番	二十石銀寺	蓮華寺
十八番	泉涌寺	石谷寺
十九番	今谷寺	銀寺
廿番	楊子地銀寺	白水彌寺
廿一番	仙之阿良	法性寺
廿二番	本丸系	常光寺
廿三番	本寺の系	東寺
廿四番	松東大官西	長泉寺
廿五番	松東細洞院西	妙安院
廿六番	四葉坊西	松雲寺
廿七番	下立堂七本松	銀寺

廿八番	下立堂七本松	西蓮寺
廿九番	大杉野町	長室寺
三十番	同徳瓦川西	地蔵院
卅一番	山姥寺	朗日寺
卅二番	同徳柳屋町	天王寺
卅三番	七本松一寺	法和院

十二社巡

縁日廿八日	東寺八幡社
日 廿日	淨地津泉苑
日 廿三日	山王大将軍
日 十六日	小本編魔堂
日 申日	繁竹大官殿
日 酉日	上切後行云社



日廿四日 淨土菩薩池  
 日午の日 下如後格の社  
 日午の日 下如後河合社  
 日三日 祇園觀音社  
 日十六日 日 夢野前  
 日廿八日 清水大日堂

上池廻

又徳天皇の仁壽三年草創小里  
 堂地蔵一房本号今依見  
 法雲山大智寺是也後白河院  
 保元三年平相國六所造地蔵  
 堂一也件ノ日限同時供養  
 清盛六所造同時供養  
 西元法師造事云々

一 毒 水の方 淨土菩薩池  
 二 毒 東の方 山科  
 三 毒 辰巳方 依見  
 四 毒 未申方 鳥羽  
 五 毒 西の方 桂  
 六 毒 申方 常盤

三弘法

東 寺  
 淨 堂  
 西 加養神樂院  
 名 強 色  
 兒 如 来 子 印 守 工 瑞 雲 院  
 國 家 如 来 右 日 寺



抱九如集 古町鞍馬 早光明寺  
 德芳如集 古町鞍馬 正業寺  
 陀提淨德 古町鞍馬 勝林寺  
 德宮集 古町鞍馬 西方寺  
 安仁王佛 古町鞍馬 安仁寺  
 裸形集 馬九如集 周備堂  
 德九如集 古町鞍馬 了性寺  
 德押集 古町鞍馬 長德寺  
 德身如集 古町鞍馬 安善寺  
 眉分集 下寺町 蓮光寺  
 德佛集 佛 蓮光寺  
 尺邊集 佛 永觀堂  
 山德集 四葉集 仲源寺  
 德公如集 尋山 正法寺

名刹迦

赤梅檀寺 像 德藏清涼寺  
 左像 打馬場門 本國寺  
 聖像 古中山 正寺  
 德宮城 德寺 古町 本長寺  
 古六像 京浦古町 戒光寺  
 護念佛  
 用明天皇 所護念佛  
 新田文佛 古町 大坂恩寺  
 惟言親王 護念佛  
 觀世音 古町 大雄寺  
 村上天皇 山守 古町 佛  
 聖觀音 德本寺 佛  
 德極多帝 所護念佛



三子沙色 赤梅橙 上寺堂小川西ノ上ル下 延壽寺

中ね娘也 今所ノ寺 天正寺

口島玉佛 今所ノ寺 報恩院

聖徳太子護念仏 吉角 頂法寺

惠心沙色 粟生 光明寺

平相國入公守 今所ノ寺 西八条村

小松内房 今所ノ寺 淨土寺

大佛殿す人

佛沙色 今所ノ寺 十間座禪寺

沙面相也 三間

沙目横也 今所ノ寺 豊成寺

沙鼻也 今所ノ寺 松尾寺

沙口横也 今所ノ寺 豊成寺

沙身也 今所ノ寺

沙心也 今所ノ寺 胎のそと沙也

大ゆび也 今所ノ寺

腫の也 今所ノ寺

羅刹也 今所ノ寺 中七人

白毫指也 今所ノ寺



道之起楹二万五 八人守

後光寺并十八万楹九间

本堂栢朽 只栢六间八人守

日架朽 只栢七间五人守

栢敷 九楹或本 但四名守

栢在并栢三万一千人守

栢三万并 只栢六间

大和梁长栢万 中八人守

全副垣栢三万一千八间

上屋栢并栢敷 五万五千守

上屋栢并栢敷 十七间

上屋栢表が五万五千守

上屋栢つまが五万五千守

下屋の栢敷 五万五千守

下屋の栢敷八间

下屋の表が五万五千守

下屋のつまが五万五千守

平下凡長十人守 中八人守

凡凡長十人守 中八人守

楹と幅 三万五千守

仁王門栢朽 十万間八人守

同くり朽 六间五人

仁王ノ守 五万四千守

同目ノ是守 守栢五万守

功弁長七 七人

同目是守 守栢五万守

令剛垣守新八 守栢五万守

栢敷 十人







同 太平記八云 中門寺 恩寺

同日 二条川 恩寺

同日 智恵寺 恩寺

佛舍利 竹青王所持 津之寺

同日 三粒 菰恩寺

同日 一乃粒 同寺

同日 天津一坐敷紀

同日 十月廿五日 宇麻 和尾

都羽津振卷二尾



